



平成29年1月26日

各 位

会社名 **芝浦メカトロニクス株式会社**
代表者名 代表取締役社長 藤田 茂樹
(コード番号 6590 東証第1部)
問合せ先 専務取締役 経営管理本部長
道嶋 仁
(TEL 045-897-2425)

営業外収益（為替差益）および営業外費用（為替予約に係る

デリバティブ評価損）の計上に関するお知らせ

平成29年3月期第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）において、下記のとおり営業外収益（為替差益）および営業外費用（為替予約に係るデリバティブ評価損）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の内容

第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）において、円高の進行により外貨建て資産・負債に関連して為替差損184百万円を営業外費用に計上しておりましたが、その後の円安の進行により、当第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日～平成28年12月31日）において343百万円の為替差益を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）においては、為替差益158百万円を営業外収益に計上いたしました。

2. 営業外費用（為替予約に係るデリバティブ評価損）の内容

第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）において、為替予約に係わるデリバティブ評価益248百万円を営業外収益に計上しておりましたが、その後の円安の進行により、当第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日～平成28年12月31日）において621百万円の評価損を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）においては、為替予約に係るデリバティブ評価損373百万円を営業外費用に計上いたしました。

3. 業績に与える影響

上記、営業外収益（為替差益）および営業外費用（為替予約に係るデリバティブ評価損）については、本日公表しました『平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）』をご参照ください。

以 上